

令和5年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

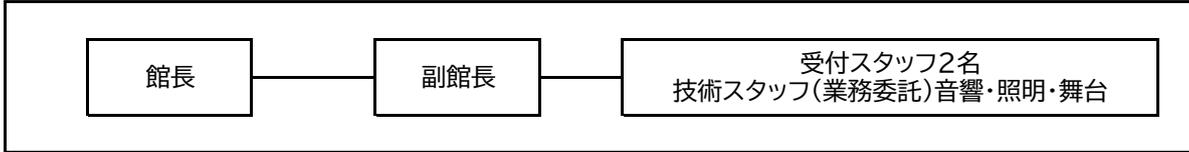
1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位 博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民(区に住み、働き、学び、集うすべての人々をいう。以下同じ。)が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践することができる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を享受することができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供することを目的とする。
管理業務の内容	(1)ホール施設及び付帯設備(以下「ホール等」という。)の利用承認等に関すること (2)演劇・音楽等の公演その他の催し物に関すること (3)区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関すること (4)文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関すること (5)ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関すること (6)その他ホールの目的を達成するために必要な事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
令和5年度	366	41	325	319	98.15%	865	761	87.98%
令和4年度	365	6	359	329	91.64%	1005	828	82.39%
令和3年度	365	60	305	225	73.77%	906	537	59.27%

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施した。

イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
令和5年度	12	175	28	102	25	45	387
令和4年度	39	169	24	99	22	35	388
令和3年度	16	124	11	50	10	32	243

ウ ホール主催事業

7演目実施(朗読・解説1回、落語1回、音楽3回、体験教室1回、その他1回)

エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭(7日間:10団体)

オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理(害虫駆除を含む)・施設清掃業務 ・警備業務 ・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検 ・防火対象物点検 ・消防設備点検 ・防火設備点検 ・避難訓練 ・水防訓練

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	27,462,000円	人件費	19,533,946円
利用料金	45,168,400円	光熱水費	16,483,011円
主催事業	4,246,695円	事業費	4,341,874円
損失費用補填額	0円	施設運営維持管理費	42,617,262円
その他	5,643,262円	合計(②)	83,071,905円
合計(①)	82,520,357円		
収支差額(①-②)	▲551,548円		

【参考】令和4年度指定管理料 30,283,293円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和5年度5月より新型コロナウイルスの第5類移行に伴い、日常を取り戻すアナウンスに続き利用に伴う来客数の動きもだいたい戻ってきた。利用者の不安も残る中、感染防止対策として主催者の意向を聞きながら施設側でも引き続き必要な衛生備品の用意を行い清潔なホールを心がけ、安心安全な施設の供給と運営に努めてきた。</p> <p>また、区との共催事業<内幸町ホール文化祭>では参加者(区民)・所管課(区)・指定管理者の三者で改めて説明会や個々の文化団体との面談等連携した意識向上を図り、ベースとなるちよだ芸術プランに基づいた地域文化の活性化に努めた。</p> <p>188席(親子室定員含む)の小劇場と言われるホールだが、行われる催事は大変質の高いものが多く、利用率の高さ、アンケートの結果等、提供するサービスに大変満足していただけたものと評価している。大規模改修工事まであと1年となったが、今後とも区民(住み、学び、働き、集う人々)の文化力の底上げを図るとともに、利用者・来場者全ての方が内幸町ホールで開催して良かった、来館して良かったと引き続き期待に込められる施設運営を心がけていく。</p>	<p>収入面では、利用率の回復により会場利用料収入や付帯設備料収入は昨年度と比べて約10%増加したが、大規模改修に伴う現場調査などで貸し出しできない日が10日ほどあり、その分がマイナスとなってしまった。しかしながら利用率やワンストップサービス事業でのプラスの回復傾向がみられるように、人々の集まる本来の施設として次期に向け前向きな管理運営の課題として捉えることができた。</p> <p>支出面では、物価水準、人件費などの上昇があったが、光熱費部分での国の調整額もあり、区の補てんを受けることなく、ホールの運営を行うことができた。7月～8月の猛暑による光熱費上昇、機器や設備の急激な劣化などで一時的な支出も見られたが日々の保守点検、コスト意識でトータル的な経費を抑えることができた。今後も安心安全を常に意識し、コストパフォーマンスに配慮した運営を心がける。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>利用率は新型コロナ感染症の拡大以前と同程度まで回復し、幅広く利用されている中で、若手へ活動の場を提供しつつも独自性のある事業を実施しており、区民が様々な文化芸術に親しむ機会を提供し、区の文化振興に寄与しているといえる。また、職員のホスピタリティの高さ、ワンストップサービスの継続、コストパフォーマンスへの高い意識など、ホールの運営のために状況に合わせて工夫を凝らし、尽力していることは高く評価できる。</p>

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>今後もこれまでのノウハウを活かし、利用者が安心して利用できるよう質の高いサービスの提供を求める。また、従前の実施内容に捉われない新たなジャンルの事業を開催することで、引き続き文化芸術の情報発信と文化交流の普及に取り組んでいただきたい。</p>
